

会 議 録

会議の名称	行田市都市計画マスタープラン第1回策定委員会
開催日時	平成23年12月22日(木) 開会：午後1時30分 閉会：午後4時00分
開催場所	行田市役所3階 305会議室
出席者(委員)氏名	酒井建二 宮本伸子 柿沼貴志 吉田豊彦 秋山佳子 小河原勝美 橋本好司 秋山量一 小林康男 野中昭夫 山崎孝子 白井裕泰 細井保雄 川田英一 荒井文之助 今村武蔵 町田光 中居恵子 井上光広 野村正幸 宇野隆 正田行夫 大久保毅 富岡誠 (名簿順・敬称略)
欠席者(委員)氏名	なし
事務局・担当課	【まちづくり推進課】岡村課長 青山主幹 金子主査 野中主任
会議内容	議事 (1) 行田市都市計画マスタープランの策定について (2) 行田市の現況について (3) 市民アンケート調査結果概要について (4) 新たな都市計画マスタープラン策定における主要な検討課題について
会議資料	(資料名・概要等) ・ 次第 ・ 行田市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱 ・ 行田市都市計画マスタープラン策定委員会委員名簿 ・ 資料1 行田市都市計画マスタープラン策定委員会第1回策定委員会資料(A3版) ・ 資料2 行田市都市計画マスタープラン策定委員会第1回策定委員会資料(A4版) ・ 資料3 都市計画マスタープラン(平成10年3月)に基づく施策事業の振り返り ・ 行田市都市計画マスタープラン策定に係る市民アンケート調査 調査票 ・ 行田都市計画図 ・ 第5次行田市総合振興計画 ・ 行田市都市計画マスタープラン
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委員長	<p>・委嘱状交付 工藤市長より委員へ交付</p> <p>・工藤市長あいさつ</p> <p>・委員長選出</p> <p>「行田市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱第5条第2項」の規程に基づき工藤市長が酒井氏を任命する。</p> <p>・酒井委員長就任あいさつ</p> <p>・副委員長選出</p> <p>同設置要綱同条同項の規程に基づき、酒井委員長が吉田氏を指名、吉田氏を副委員長に決定する。</p> <p><b>審議</b></p> <p>暫時、進行を務めさせていただく。皆様にはご協力のほどよろしく願います。</p> <p>早速、議事についてご審議願いたい。次第5(1)都市計画マスタープランの策定について事務局より説明をお願いします。</p> <p>■資料1の1、2ページ、及び資料2の1～6ページについて、スライドを用いてまちづくり推進課（事務局）より説明。</p>
委員長	<p>事務局の説明に、ご意見、ご質問があれば伺いたい。内容が盛りだくさんであるので、一度の説明では難しいかもしれないがご発言願いたい。</p>
委員	<p>策定委員会のスケジュールなどの説明を頂いたが、20年後の行田市を考えるにあたって、策定委員の責任として、5回程度の会議でこのような大事な計画が出来上がるのかどうか大変不安に思う。基本理念一つにしても、相当知恵を絞っていくべきだろうと思が、その辺りは、作業部会や検討委員会で相当絞ってくると理解して良いのか。この策定委員会が、ただ単に案を承認するだけの会合であるならば、あまり意味がないと思う。そういうことについて、本当に真剣に考えるならば、5回程度の会議で20年後の大事な市の方向付</p>

<p>委員長 事務局</p>	<p>けをするのは大変おこがましいと思う。</p> <p>事務局いかがか。</p> <p>都市計画マスタープランの策定にあたっては、検討委員会、作業部会、市民まちづくり会議や地域別懇談会等で地域の課題を吸い上げていく場を設けている。そのような場の意見を積み上げていった上で、策定委員会では全体的な見地からご意見を頂きたい。</p> <p>会議の回数はスケジュールに示しているが、検討委員会等から出てきた課題等について、策定委員会のご意見を頂くなど関連性を持たせて行きたい。回数については、5回ちょうどではないかもしれないが、基本的にはこのようなスケジュールで考えている。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>●●委員いかがか。</p> <p>役所の中で様々な会議があるが、ややもすれば、形骸化することになりかねない。市民が真剣になって、まちづくりを役所と一緒に考えていく方向に向かないといけない。これから先は、人口減少や財政難などの問題が出てくるので、その辺りも捉えて従来の考え方を変えていかなければならない時期に来ていると思う。我々がそのような責任を果たせるようなセッティングをして頂きたい。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他にどなたかご意見、ご質問はないか。</p> <p>●●委員の意見に私も賛成である。策定委員会をやっていく中で、会議回数が足りなければ我々から発意して、有志でもよいので直接お伺いを立ててもう一度集まってもらうなど、そのような意見が出てくる会にしていけば良いのではないか。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>事務局いかがですか。</p> <p>ただ今の貴重なご意見に対し、まちづくり推進課として全精力を挙げて、一丸となって全力で取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いしたい。</p>
<p>委員長 委員 事務局 委員</p>	<p>他にご意見、ご質問はないか。</p> <p>作業部会と検討委員会の総まとめは誰が行うのか。</p> <p>最終的に全体的な取りまとめを行うのが策定委員会である。</p> <p>検討委員会からどういう情報が伝わってくるのか、どういうことが話し合われたかといったことは、策定委員会に何か資料が提示さ</p>

事務局	<p>れるのか。</p> <p>今回は第1回目であるため、都市計画マスタープランについての全体的なご説明をさせて頂いているところであるが、作業部会や検討委員会でそれぞれまとめた意見や課題を示させて頂きご意見を頂きたい。</p>
委員	<p>既に10月28日に作業部会が、11月16日に策定委員会が開催されているということは、本日の策定委員会に何か資料が提示されるのか。</p>
事務局	<p>本日は、資料3として、「現行の都市計画マスタープランに基づく施策事業の振返り」としてお示ししている。これは作業部会、検討委員会において現行計画の進捗状況と実施状況についてとりまとめたものである。これについては、議事(4)でご案内させて頂く。</p> <p>現在、市民の皆様との意見交換等により頂いている課題については、第2回以降に資料を示して議論を頂戴したい。</p>
委員長	<p>●●●委員よろしいか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員	<p>都市計画マスタープランは最終的には計画冊子としてまとめるものだが、これだけたくさんの市民が参加されているような意見を出されると、計画の冊子には示しきれない貴重な意見がたくさんあると思う。それを何らかの形で集めて、実際に具体的に物事を動かしていくときには、参考資料とできるようなデータベース的な資料を作成して頂きたい。</p>
委員長	<p>私もそのように思うが事務局いかがですか。</p>
事務局	<p>そのような形で対応させて頂きたい。まちづくりについて議論頂く中では計画の中に示しきれない意見がある。また、そのような意見の中にも貴重なものがあるので、整理して活用できるようにしたい。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問はないか。</p> <p>よろしければ次に、次第5(2)行田市の現況について、及び(3)市民アンケート調査の概要について、一括して事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p>■資料 1 の 3～12 ページ、及び資料 2 の 6～25 ページについて、スライドを用いてまちづくり推進課（事務局）より説明。</p>
委員長	<p>ただいまの説明についてご意見、ご質問があれば伺いたい。</p>
事務局	<p>市民アンケート結果についてですが、本日の資料には概要のみを掲載している。年齢別、性別、地域別の結果については、まとめた段階で皆さんに提示させて頂く。</p>
委員長	<p>市民アンケートのサンプルは各年齢層から同じ数を抽出したのか。先程のアンケート結果の説明では、高年齢層の方からの回答が多く、若年齢層の回答が少ないということであったが、高年齢層の方に多く配付したということはないのか。</p>
事務局	<p>市民アンケートは、それぞれ 4 つの地域から 750 人ずつとし、年齢層は 18 歳以上の市民を無作為に抽出した。</p>
委員	<p>市民アンケートの分析はどこで行うのか。</p>
事務局	<p>市で行う。</p>
委員	<p>アンケート結果について資料提供願いたい。</p>
事務局	<p>この件については、市民まちづくり会議でも要望があったところで、早急に取りまとめ次回には皆様にお示ししたい。</p>
酒井委員長	<p>他にどなたかご意見、ご質問はないか。</p>
委員	<p>6 ページの(4)商業について、平成 16 年から平成 19 年にかけて、卸売商店数は 211 件から 203 件に減少しているのに卸売販売額が 825 億円から 1,482 億円に急激に増えているが、この 3 年間に何か変化があったのか。</p>
事務局	<p>資料に注意書きがないが、統計の取り方が変わったと統計の担当課から聞いている。</p>
委員長	<p>これについては、次回までに調べていただいて報告願いたい。</p>
事務局	<p>詳細は次回に報告させていただく。</p>
委員長	<p>他にどなたかご意見、ご質問はないか。</p>
委員	<p>全体的な意見になるが、この資料を見ると人口が流出しているということが分かりやすく出ている。人口が減るということは税収が減る。税収が減るということは、市民の安全安心が守れず、もちろ</p>

ん満足度も低下して、さらに人口減につながるということが行田市の喫緊の課題ではないか。このような資料をホームページなどで市民の方々に分かりやすく提示し、危機感を持って頂きたいというのが私の意見である。行田市の状況はそのような段階まで来ているということを広く伝えてほしい。その上で、我慢して頂くところは我慢して頂き、まちづくりをしなければならない。

また、市内循環バスが「非常に使いづらい、遠くに出掛けづらい」という意見をよく伺うが、私もそう感じている。市内循環バスで観光ルートが出来たならば、観光ルート専用のバスをつくったり、新しいペイントをしたり、乗車すると観光の特典がついてくるなど、あまりお金をかけずにできる斬新なものを出せば、市外からもお客さんがどんどん来て頂けるのではと思う。そのような方策を実施していけば良いと思う。

その他、公園が少ないという意見が出ているが、私もそう感じる。東松山市は運動公園がしっかりしており、熊谷市は週末遊べるところがあるが、行田市には色々なものがバラバラと点在しているので、まとめて、週末に市民がそこに行けばゆっくり遊べるという所をつくれば良いと思う。

委員長  
委員

他にどなたかご意見、ご質問はないか。

市長が先程、10年後の人口を10万人に「住んでもよし、訪れてもよし」ということをおっしゃっていた。また、委員から人口減に対する危機感や歳入減った話も伺った。やはり、企業の売上げが少なくなると財政が圧迫されるということだと思う。

具体的な例で申し上げますと、直近に2件、工業団地に進出したいという問い合わせが商工会議所にあったが、たまたま行田市内に土地がなかったため、他所に行ってしまった。この件を考えた時、企業進出があれば固定資産税や法人税、県税、市民税など、非常に大きな歳入になるかと思う。

その準備として具体的に申し上げますと、みなみ工業団地の隣接地の工業用地の整備がある。この辺りは、農業を続ける人も減っており困っている状況があり、一反辺り300万円という地価で手放して

しまう。ここに道路整備や造成等のインフラ整備をして、坪単価 3～4 万円くらい、1,000 坪整備しても 3,000 万円位であれば、県下や他県から企業が集まってくるのではないかと思う。

また、人口の件については、加須市と羽生市では都市計画法の第 34 条 11 号、12 号が施行されたときに大きく網をかけた結果、人口が増加している。行田市は少し慎重であったのかもしれないが、この法第 34 条 11 号、12 号のエリアを少し広げて、スプロール化に注意しながらやれば、非常に良い効果がでるのではないかと考えている。これは国や県とは別に、市の決裁になるのではないか。

例えば、この後の議題で出てくるかと思うが、前谷地区の市街化調整区域は約 300 ㎡以上の区画を約 2,000 区画くらい取れるのではないか。全体で 20ha になるが、そこに 1 世帯 4 人ずつ居住した場合 8,000 人となり、大きく人口増に貢献できるのではないか。10 年のスパンであれば、20ha を 2ha ずつ整備すると、10 年間で 8,000 人増加する可能性があるということになる。

具体的なことで先走ったかもしれないが、そのようにインフラ整備にあまり投資をしないで準備ができるようなエリアも用意しておく様にしておけば良いと思う。また、文教地域のものづくり大学に近い方も、JR に近いということも好条件の一つであり、その辺りも、できればお返事を頂きたいが要望という形で発言させて頂く。

委員長

今のご意見については、様々な内容があったが都市計画マスタープランを策定する過程で、どのように汲み上げていくか事務局に検討いただき、次回でも結構であるのでお答え頂きたい。

事務局

都市計画マスタープランでは、20 年後の将来像を描いた中で、その施策等を考えていくものであり、委員長のご挨拶の中にもあったが、二つの視点ということで、「個性的な魅力あるまちづくり」と「総合的な視点でのまちづくり」を描いていきたい。都市計画マスタープランを策定する中では、様々な法的規制があるが個性的なまちづくりとなるよう、将来の夢を描いた中での具体的な方策を示していきたい。

先程ご質問の中にあった、都市計画法第 34 条の 11 号の区域指定、

	<p>また、工業用地の確保については、都市計画、農地関係や周辺環境との調整が関係となる。このようなことを踏まえながら、20年後の行田市のあるべき姿について、皆様方からご意見を頂きながら実現できる方向になれば良いと思う。しかしながら、詳細については様々な技術基準もあるため複雑な面もある。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしいか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見、ご質問はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>20年後の人口構成の予測データが欲しい。先程、●●委員のお話にもあったが、人口減少というのは由々しき問題である。また、重要なのはその人口構成の中身である。高齢者だけでなく若い世代の方に行田市に住んでもらわないと困る。</p> <p>先程の市民アンケート結果の説明では、地域別の傾向として、西部地域に住み続けたいという方が80%いるが、引っ越したいという方が18.5%もいる。その辺りがなぜそうなっているのかということが、大事なところであり分析しなければいけない要素だと思う。もちろん全体的にもみななければいけないが、人口構成の予測というのはとても重要だと思うので是非お願いしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の件について、事務局いかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>人口構成の予測については、今後、都市計画マスタープランの中でも詰めていきたい。10年後のまちづくり人口10万人が、上位計画である総合振興計画での10年後の目標値となっている。都市計画マスタープランの中では、土地利用等を踏まえながら、将来人口の想定を検討していきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に何かございますか。よろしければ次に(3)「新たな都市計画マスタープラン策定における主要な検討課題について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>■資料1の13ページ、資料2の26ページ、及び資料3について、スライドを用いてまちづくり推進課（事務局）より説明。</p>



<p>委員長 委員</p>	<p>只今の説明について、ご意見、ご質問はないか。 先程申し上げた、みなみ産業団地を拡張して、そこに企業誘致をするようなことが可能かどうか、その辺りのご検討をお願いしたい。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>事務局いかがか。 既に市民まちづくり会議、地域別懇談会、こども会議を開催しているが、その中でも企業誘致は必要であるというご意見を頂いているので、場所も含めて全体的な取りまとめの中で検討したいと考えている。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他にご意見、ご質問はないか。 検討課題としてあがっている4つの大まかな課題について、J R 行田駅の方が中心のようになっているが、中心市街地にある商店街の活性化の話は検討課題という形では話題にはならなかったのか。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>事務局いかがか。 J R 行田駅周辺の他に、市中心部として秩父鉄道行田市駅周辺の整備のあり方や活性化に向けた取り組みを含み①番にあげさせて頂いている。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>先程から細かい地名が出てくるが、都市計画図を参照して頂きたい。 都市計画を考えるときに都市軸という考え方があると思う。 行田市の場合は、中心となる市役所周辺の市街地とJ R 行田駅というのが課題にもあげられているが、これが一つの軸だと思う。それをどう繋げるかが軸として非常に大事だと思う。 そして、もう一つの軸として、J R 吹上駅とものつくり大学そして中心市街地が10年後を考えたときには、重要な軸ではないかと思う。J R 吹上駅を鴻巣市がどのように考えているのかということは、他市の領分だから知らないということではなく、吹上駅は軸の中の核であるので、そこが発展することによってこの軸が生きてくると思う。その辺の整合性を図るため、鴻巣市がどのようなことを考えているのか刷り合わせを行って頂けると良い。</p>
	<p>この2つの軸以外にも、例えば歴史的な軸もある。このように軸という考え方で、全体計画を考えていけると良い。軸の性格もこれ</p>

<p>委員長 事務局</p>	<p>から考えていくと良いと思う。その辺りをご検討頂きたい。 事務局いかがか。</p>
<p>委員長</p>	<p>ものづくり大学と吹上駅さらに市中心部を結んだ軸については、鴻巣市がどう考えているかということもあるため、都市計画マスタープランの策定にあたっては、情報収集をしながら関連付けて計画に盛り込んでいきたい。様々な軸の性格として蔵を軸としたものなど、行田市特有のものがあるのでそういうものを活かした形で、有機的な連携が図れるような土地利用を考えていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>東北道と関越道の両方に貫ける国道 125 号バイパスの整備の中で、行田市は谷間に入っている形にみえるので、このバイパス沿線をどう土地利用して行くかということ。国道 125 号バイパスの沿道の整備のあり方についてですが、加須市の方は、バイパス沿線に家が張り付いているところがずいぶんあるが、行田市の沿線ではあまりない。将来ということであれば、その辺りも一つ考えに入れて欲しい。</p> <p>また、従来まで駅周辺の整備ということで、駅を中心にまちづくりが進展していったという経緯もある。10 年後ということであれば何か考えて頂きたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>行田市は東北道と関越道の谷間になっているということについては、広域的な幹線道路を結んだ中で、国道 125 号バイパス沿線の土地利用というのも大変重要なことと考えている。そのようなことも踏まえた中で検討して頂きたい。</p> <p>また、駅周辺のまちづくりについては、JR や秩父鉄道の駅が多数ある。そうした中での土地利用とすると、駅周辺の地域にあったまちづくりというものが必要であると考えている。例えば他の土地利用とは違った色付けなどが出来れば良いかと思う。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他にご意見、ご質問はないか。</p> <p>いろいろ課題は多いと思うが、④として「郊外集落の暮らし・地域コミュニティの維持」とあるが、郊外の部分がえらく雑駁なまとめ方をされているのが気になる。特に南河原地区にずっと住んでいらっしゃる方々は、行田市と合併となったときにこの都市計画マス</p>

タープランの中で、どのように位置づけられるのか大いに関心があるところである。また、南河原地区だけではなく、利根川沿いの地域や或いは先程話にあがったみなみ産業団地の方など、周辺部に対してもきめ細やかな都市計画マスタープランにして頂きたい。

また、私は市の施設検討委員会に属しているが、市内の公共施設は大分老朽化しているものもあり、色々と課題がある。先程、公園が少ないというご意見もあったが、そういった公共施設をこの都市計画マスタープランの上で、皆が暮らしやすいようにどう配置していくかといったことも含めて頂きたい。

委員長  
事務局

事務局いかがでしょうか。

南河原地区がどのように都市計画マスタープランに位置づけられるかということだが、旧南河原村には都市計画マスタープランがなかった。現行の都市計画マスタープランには合併前の行田市だけのものである。

南河原地区としては、新市建設計画と第5次行田市総合振興計画の位置づけがあるのみである。南河原地区の都市計画としては、例えば都市施設の配置を見直すとか、公園を位置づけるなどの検討をお願いしたいと考えている。

委員

都市計画マスタープランとなると確かに空洞化や商業の衰退が進行している都市の整備等の話が先に出てくると思う。しかし、いくら整備をしても、いくら道路をつくっても、行田市は通過するまちなになっているということは事実だと思う。行田市が生き残るにはどうするのかと考えた場合、単純なことで人口だと思う。人口さえ増えれば、狭いところでも商業施設だとか小売業が入ってくるだろう。行田市の人口は8万人いるが、一学年に何人もいないという状態で、小学校単位で通学路ができない学校がある。

他の委員会等にも出席していて話を聞くが、観光や商業が重要だといっても、実際は人口を増やして住んでもらわないことには、何も発展しないと思う。もともと小さい村の集まりが行田市をつくっているため、地域性だとかいろいろな部分があるかもしれない。

先程、●●委員からお話があったが、工業団地を造るとかもう一

	<p>つ大きい大学を持ってきて、若い人や働く人、いろんな世代が集まるようなイメージをしていかないといけないと思う。このままだと20年後に人口が6万人になってしまったということになると思う。10年後20年後のまちを考えるならば自然と公園も必要になるであろうし、そういうところに考えを持っていかないと、10年後にまた繰り返すということになってしまうだろう。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>事務局いかがか。</p> <p>●●委員から、行田市は道路を整備しても通過するまちであって行田市には人が寄って来ない。人口対策が必要だというお話を頂いた。</p> <p>第5次行田市総合振興計画の中でもその点については大きく捉えており、定住人口の維持とまちづくり人口を増やす施策を進めているところである。そうした中で、都市計画の土地利用という部分に関連づけた人口対策ということが非常に重要であると考えている。これから皆様にもご検討いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私も●●委員と同意見である。やはり、核となる何かをつくりたい。市長ともよく話しているが、まずはそれが大切だと思う。私の考えもあるが、今回は時間がないため、また次回、まとめてお話ができればと思う。</p> <p>アクセスを強化について質問がある。国道17号バイパスの中央部の放置してある所に圏央道が伸びてくるのか。20年後先にどうなるのか。市としてはどう考えているのかお聞きしたい。</p> <p>12月の新聞にも出たが、県内立地に76社が関心を持っている。やはりインターが近いということで加須市と鶴ヶ島市に人気がある。何とかして圏央道を早く伸ばして頂き、行田市の近くにインターができればまた少し違う人の流れが、止まるとか、ここから出発するといったことができるのではないか。</p> <p>2点目は、やはり行田市の持っている最大の宝としては、歴史、文化、埼玉県名発祥の地であるさきたま古墳である。現在は中座しているが、世界遺産にしようという動きが一時期かなり盛り上がった経緯がある。その際に盛り上げてくださった方々を、この計画に</p>

	<p>どんどん取り入れて、一つの力にして、一つに集めて、連携できないか。先程、都市計画の軸というお話もあったが、この一点に絞るくらいの気持ちでないといけないと思っている。丸墓山を世界遺産にという流れの中での、今後 20 年先の進展としてはどう考えているのかということをお聞きしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>1 点目の国道 17 号バイパスへの圏央道以東の延伸について、20 年後市としてどう考えているかということですが、現行の都市計画マスタープランの中では、道路体系図の中で、第二産業道路の延伸という形で広域幹線道路の構想が描かれている。</p>
<p>事務局</p>	<p>国道 17 号バイパスは幅員 50m で都市計画決定されている。現在側道部の 4 車線で片側 2 車線ずつ供用されている。</p> <p>バイパスの中央部については、鴻巣市箕田から渋川市に貫ける、「熊谷・渋川連絡道路」という位置づけがある。その完成形のイメージが、「熊谷市肥塚立体」や、伊勢崎市方面への自動車専用部として、高速道路ではないが地域高規格道路がある。</p> <p>現在の国の進捗状況を見ると、圏央道は桶川の辺りまで、上尾道路は鴻巣市から新大宮バイパスまで位置づけられており、そちらの整備を優先している状況であり、「熊谷・渋川連絡道路」の事業化の話はまだ聞いていない。</p>
<p>委員</p>	<p>今放置している国道 17 号バイパスの中央部をどうにか有効利用できないのか。何年まで放置されるのか。例えば太陽光パネルを設置する等の利用はできないのか。昔はテニスコート等もあったと思う。細長い土地であるが 20 年後であれば利用できないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>以前、国に、国道 17 号バイパスの中央部の空いている土地について、暫定利用等ができないかということをお聞きした経緯がある。</p> <p>その時は、両側に 2 車線ある広域幹線道路で交通量が多いということで国からは良い返事は頂けなかった。利用方法によっては、国と調整することも可能かと思うが、以前はかなり難しいという答えであった。</p> <p>2 点目の丸墓山を世界遺産に向けて、一つに集めて都市計画マスタープランの中で活かしながら連携できないかということについて</p>

<p>委員長</p>	<p>であるが、都市計画として全般的な土地利用を計画していくという中では、地域コミュニティなど、様々なものと連携し都市計画に結びつけながら、計画的に行っていくというような描き方もあると思う。</p> <p>他に皆さんいかがでしょうか。</p> <p>人口を増加させる方策、或いは企業誘致等は外との関係が非常に重要になってくる。周りがあるって行田市があるわけで、広く考えればきりもなく広がるが周辺の自治体と生き残り競争をしていくことになる。周りの状況をもう少し検討して頂き、その中で、例えば区画整理をして人を呼べるのかということや、企業誘致が他の地域と比べてどの程度可能性があるのかという様なことをもう少し検討して頂いた方が良い。</p> <p>一方で、先程、●●委員よりお話があった様に郊外集落をどうしていくかということも重要であるため、両面から考えていく必要がある。</p>
<p>委員</p>	<p>学校の立場からいいますと、行田市は大変学校数が多く、小学校16校、中学校が8校ある。統廃合も地域の方々の理解が得られないと進まないという状況の中で、市街地の学校では児童生徒数はある程度いるが、郊外の学校では少子化や市街化調整区域ということで年々児童生徒数が減少傾向にある。せめて複数の学級が維持できると教育効果も上がると思う。小学生、中学生も10年後には市の担い手となるため、是非、行田市に住み続けられるように子どもたちを育てられる環境をつくって頂きたい。やはり住宅が増えなければ子どもの数は増えていかない。郊外も視野に入れながらプランをつくって頂ければより一層有難い。</p>
<p>事務局</p>	<p>学校が一つの地域コミュニティの核というところもあると思う。それぞれの地域にあったまちづくりの方向性を描いていき、良好な住環境に結び付けられれば良いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>小学校の統廃合の問題は10年以上前からあるが未だ解決されていないということは、誰も責任を取らないからである。やはりある程度反対があるということだと思うが、どこに視点を置くかといえ</p>

	<p>ば、子どもたちに視点を置かなければいけないと思う。</p> <p>私も農村部の出身なので、もちろん小学校というものが地域コミュニティの中心ということは承知しているが、それについては代替案として何か考えれば良いものである。</p> <p>以前、PTA連合会の会長に相談されたこともあったが、結果的に何年やっても解決に至らないのは、誰かが責任を取って決断をしないからだと思う。そういうことをしっかり決断すべきだと思う。子どもたちにとってどういう学校の姿が良いのかということが一番に考えて決断すべきである。</p>
<p>事務局</p>	<p>小学校の統廃合については、教育委員会も絡み難しいところではあるが、少なくとも我々が取り組む都市計画マスタープランの中では、子どもたちの将来を見据えて、しっかり頭に入れた中で検討していきたい。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他にご意見、ご質問はないか。</p> <p>市役所の通り、本町、新町通りはシャッターが閉まっていて店を閉めたところも多い。これは大きな店が出来たということで、事実上、後継者がいなかったり、利益が上がらなかったりということでお店を閉めたと思うが、これから10年、20年先にまちの中心部の通りを活性化していくためにはどういう計画をつくっていくのかということが一つの課題になる。</p> <p>先程お話にあがったように、企業の工場数が4割も減少しており、従業員の数も4,000人程減少しているということは税収も少なくなる。やはり土地利用ということが重要になるのではないか。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他にご意見、ご質問はないか。</p> <p>今まで人口を増やすということを前提に皆さんで議論し、私も人口を増やすことが市の活性化につながると思うが、果たして行田市に人口を増やせる土壌があるのか。また、人口を増やすためにはどれだけの費用負担だとか、インフラ整備が必要なのかということを考えなければいけない。</p> <p>一方で、人口が減るという前提で考えた場合にはどうなるのかということも一つ想定しておく必要があると思う。</p>

事務局	人口予測の良い見込みの部分と負の見込みの部分との相互間のメリット、デメリットも考える必要があると思うので検討する必要があると思う。
委員長	<p>他にいかがか。</p> <p>他にないようであれば、本日予定しておりました議題につきましては以上で終了とさせていただきます、これをもちまして、議長の職を解かせていただく。</p> <p>皆様のご協力により、円滑な議事運営ができましたことを、お礼申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">議事審議終了</p>